

筑北三村地域自立支援協議会 部会・プロジェクト議事録

部会・プロジェクト名 第 1 回居住環境整備プロジェクト	開催日:令和 7 年 5 月 29 日 (木) 時間:10:00~12:15 場所:ちくほくシャインカレッジ
参加者・構成機関名 (6 名参加) 麻績村住民課健康推進係 (リーダー 高野) 生坂村健康福祉課 (竹内) ちくほくシャインカレッジ (鈴木) 生坂村社会福祉協議会 (井口) 静雄寮 (神戸) 事務局 (藤澤)	
次第 1.今年度プロジェクトのテーマや到達目標 2.アンケート実施にむけて	
次回予定 7 月 24 日 (木) 13:00~15:00 ちくほくシャインカレッジ	

## 会議内容

### 1.今年度プロジェクトのテーマや到達目標

地域で暮らす重度障がい者を対象としたサービス利用の希望やニーズ調査を行い、三村の居住環境整備のニーズ調査を実施する。

### 2.アンケート実施にむけて

#### ①意見交換

- ・ 麻績村の以前のアンケート結果には家族との同居希望が半数だった。家族の高齢化等、将来を見据えたニーズ調査が必要ではないか。
- ・ 本人のニーズの意思表出が難しい障がい者へのアンケート方法は聴き取りがよい。
- ・ 静雄寮には空室がありグループホーム入居希望者がいるのか。
- ・ 入居者の障がい特性や重さに異なりがあると落ち着かなかったり運営の大変さがある。昨年度の学習会でもあったが、サービス管理責任者の配置も含め 2 棟以上が望ましい。
- ・ グループホーム待機者には社会的入院者や施設で安定した暮らしをしている人いる。入所・入居した後も引っ越しができる選択肢の提示が必要ではないか。
- ・ 安定した運営のためにはサービス管理責任者や給付額、加算等、制度の勉強が必要。
- ・ 住まいの場以外にコンビニや通所先、外出や移動支援が充実している等も重要。
- ・ 適切な医療が受けられたり、外部サービスの利用や職員以外との交流や外出等、過ごし方の希望がわかるとよい。
- ・ 障がい者施設建設には近隣から反対される場合がある。暮らし部会でも同様の話があり障がい者への地域の理解を深めていく必要がある。

#### ②内容について

- ・ 対象:在宅でサービス利用している 区分 4 以上または一定期間の入院者、入所者。  
サービスを使っていない総合相談や基幹相談の気になる障がい者は検討。
- ・ 内容:通院や余暇、医療等の希望するサービス、日中活動、住みたい場所 (交通機関も含めた三村の特徴、社会資源の提示、グループホームの説明等)
- ・ 方法:郵便もしくは聞き取り
- ・ 次回 PJ までにアンケートの原案、制度の概要、グループホームの運営等の資料を作成、持参する。

